

CSR REPORT

2020年
CSR報告書



次代を見つめる環境のエキスパート

SUZUKI

鈴木工業株式会社

1. トップメッセージ

世界経済の著しい発展の陰で、地球規模での環境破壊が深刻化し人間社会の大きな痛みとなって表れてきています。一方、環境の改善を行う為に循環型社会形成推進基本法の整備も行われ、廃棄物の発生量を減らし、発生した廃棄物は再資源化に移行する等、排出事業者の3Rの意識は年々高まってきました。今後、持続可能な社会発展をさせていくには、循環型社会を構築しリサイクルへのあらゆる可能性にチャレンジしていくことが必要不可欠です。当社は1966年の創業から54年にわたり環境をテーマにお客様の課題解決を通じて社会と産業の発展に貢献して参りました。今後も、これまで蓄積してきた経験に新しい発想を取り入れながら地域に根差した *Good Company* = 「**選ばれる企業**」を目指してまいりますので、皆様のますますのご指導、ご厚情、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。



鈴木工業株式会社

代表取締役

鈴木 伸彌



Contents

1. トップメッセージ	...	1
2. SDGsに基づいた取り組み	...	3
3. 2019年度産業廃棄物処理状況	...	5
4. 環境貢献活動	...	7
5. IMS -統合マネジメントシステム- (Integration Management System)	...	9
6. 社会貢献活動	...	11
7. BCM -事業継続マネジメント- (Business Continuity Management)	...	15
8. 測定結果	...	17

Company profile

- 商号 鈴木工業株式会社
- 代表 鈴木 伸彌
- 本社 宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番28号
- 中間処理施設:エコミュージアム21
宮城県仙台市宮城野区仙台港北二丁目14番地の3
- リサイクルセンター:再生館
宮城県仙台市若林区卸町東四丁目4番25号
- 従業員数 90名
- 設立 昭和41年7月15日
- 資本金 6,000万円
- グループ会社
 - 東伸環境株式会社
油水分離槽清掃業務、産業廃棄物収集運搬業務
特別管理産業廃棄物収集運搬業務
 - 光輝ビルテクノ株式会社
給排水衛生設備及び各種設備機器の保守点検等
 - 東日本油化工業株式会社
油槽清掃漏洩検査設計施工保守及びポリウレアコーティング等

2. SDGsに基づいた取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Environment

産業廃棄物の適正処理とリサイクルを推進します

産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの促進、再生可能エネルギーの積極活用で持続可能な社会の発展に貢献します。(P.5~P.6)

環境に十分配慮します

電気自動車の導入により、CO₂排出量を減少させ環境に配慮して事業活動を行っています。(P.7)

再生可能なエネルギーを活用します

太陽光パネル・ハイブリッド照明による発電などの再生可能エネルギーの積極活用で持続可能な社会の構築に貢献します。(P.8)



SDGsについて

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

鈴木工業のSDGs

私たち鈴木工業株式会社はこの開発目標に賛同し、事業活動を通じて、持続可能な社会の構築、問題解決に取り組んで参ります。

生活衛生の向上に貢献します

上水・下水道施設の清掃や各種設備のメンテナンスを通じて、各施設が安全かつ衛生的であるよう管理を行っております。

Infrastructure & Maintenance



従業員の資格取得を支援します

資格取得者の増員により業務の質が向上しました。さらなる技術向上を目指し、資格取得、研修会開催等に積極的に取り組みます。(P.10)

Life & Education

地域との共存に努めます

子供・若者の健全育成を支援する活動にも力を入れております。(P.11~P.14)

事業継続で地域のインフラの維持に貢献します

BCM(事業継続マネジメントシステム)によるパンデミックへの迅速な対応や災害時の早期復旧・事業継続で地域のインフラの復興・機能の維持に貢献します。(P.15~P.16)



3. 2019年度産業廃棄物処理状況



産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」

鈴木工業株式会社は「ISO9001」「ISO14001」「ISO45001」の認証取得により、環境と労働安全衛生に十分な配慮をしながら品質の向上に取り組み続けております。各処理施設に必要とされる技術資格者を配置し、確かな技術で廃棄物の処理・リサイクルを行ない、法令遵守の下、地球環境の保全に努めてまいります。

2019年度に弊社の処理施設へ受け入れた産業廃棄物の総量及び処理状況です。多品目の廃棄物に対して、適切な処理施設にて中間処理を行い、廃棄物の減容化、リサイクルに努めております。

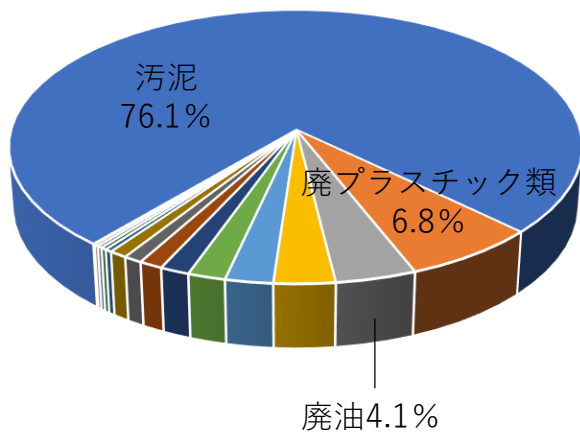
■ 受入総量及び品目割合

廃棄物受入総量

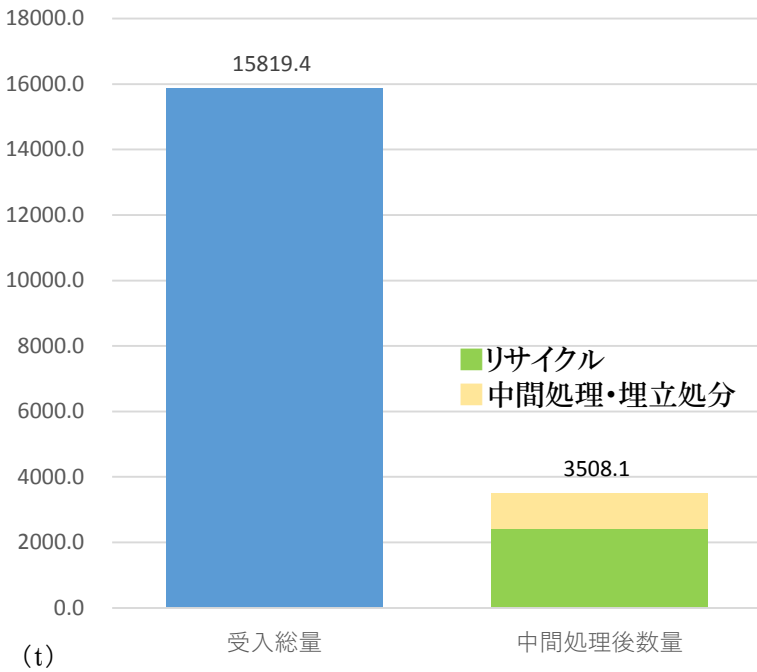
15819.4t（前年度比6.0%増）

■ 品目割合

産業廃棄物の種類	受入量(t)	割合(%)
汚泥	12033.2	76.1
廃プラスチック類	1082.0	6.8
廃油	641.1	4.1
動植物性残さ	484.9	3.1
感染性産業廃棄物	378.9	2.4
木くず	299.2	1.9
廃酸	233.8	1.5
金属くず	186.9	1.2
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	147.2	0.9
引火性廃油	142.0	0.9
動物系固形不要物	55.1	0.3
廃アルカリ	44.1	0.3
汚泥（有害）	40.5	0.3
燃えがら	35.8	0.2
燃えがら（有害）	8.5	0.1未満
強アルカリ	3.8	0.1未満
強酸	1.8	0.1未満
紙くず	0.7	0.1未満



産業廃棄物処理状況



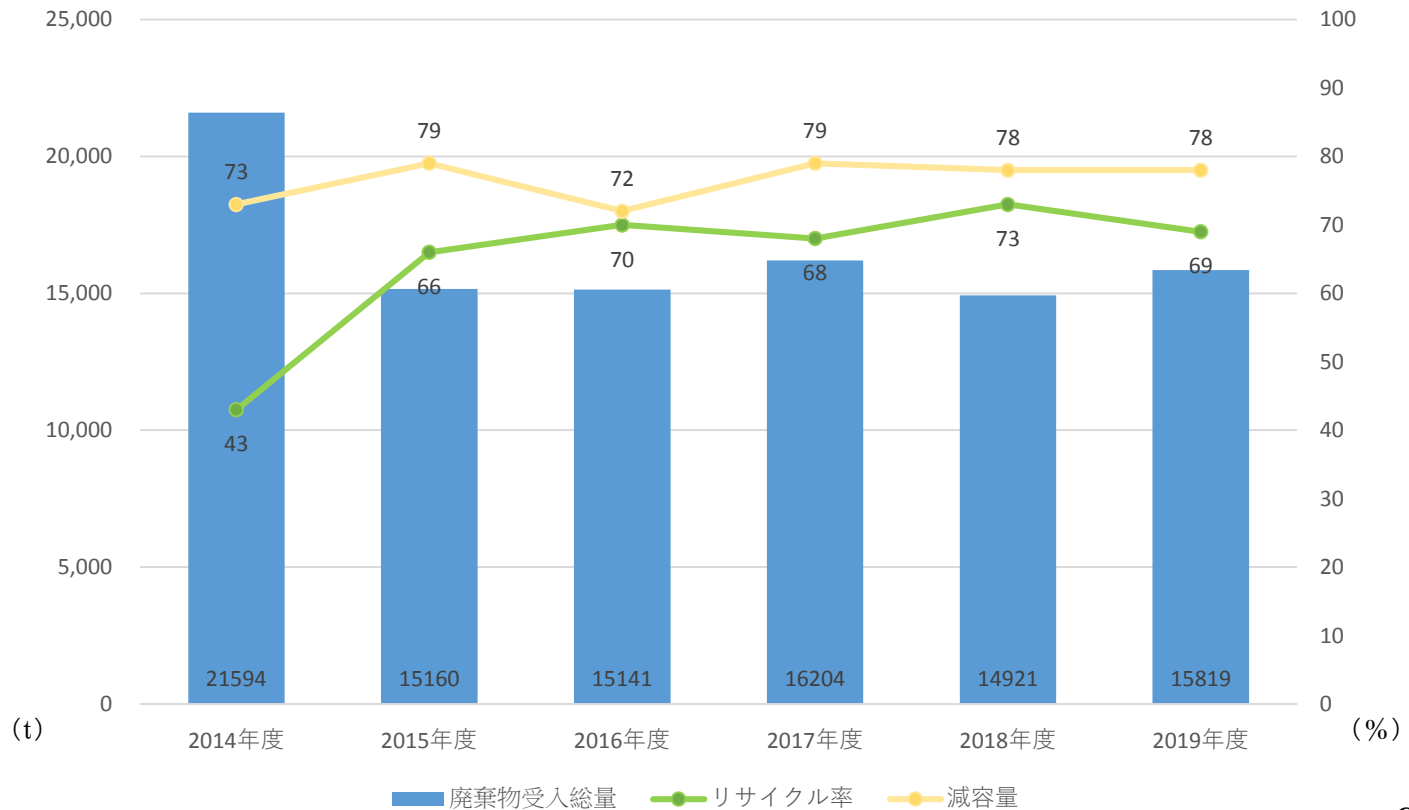
減容率

廃棄物受入総量 : 15819.4t
 中間処理後数量 : 3508.1t
 減容率 : **77.8%**

中間処理後の処理

リサイクル : 2421.9t
 中間処理・埋立処分 : 1086.2t
 リサイクル率 : **69.0%**

処理状況推移



4. 環境貢献活動



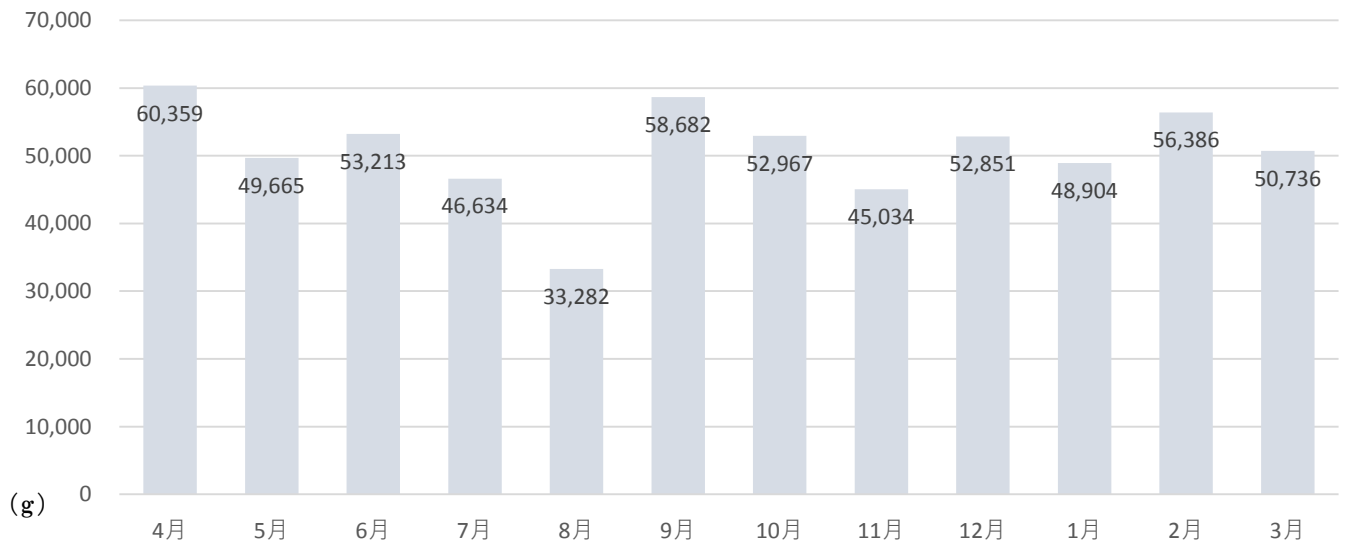
三菱自動車製電気自動車「i-MiEV」

電気自動車によるCO₂排出量削減

電気自動車の使用によるCO₂排出削減量のグラフです。電気自動車の稼働率を高める事により、CO₂排出量の削減に努めます。

2019年度のCO₂排出削減量は杉の木43本分相当となりました。

■ 電気自動車利用によるCO₂排出削減量



※ 電気自動車1km走行当たりのCO₂排出削減量 =

普通自動車1km走行当たりのCO₂排出量 - 電気自動車1km走行当たりのCO₂排出量

CO₂排出削減量合計

608,713 g



杉の木の年間CO₂吸収量、約14kgをもってCO₂排出量を換算

杉の木 約43本分 のCO₂削減

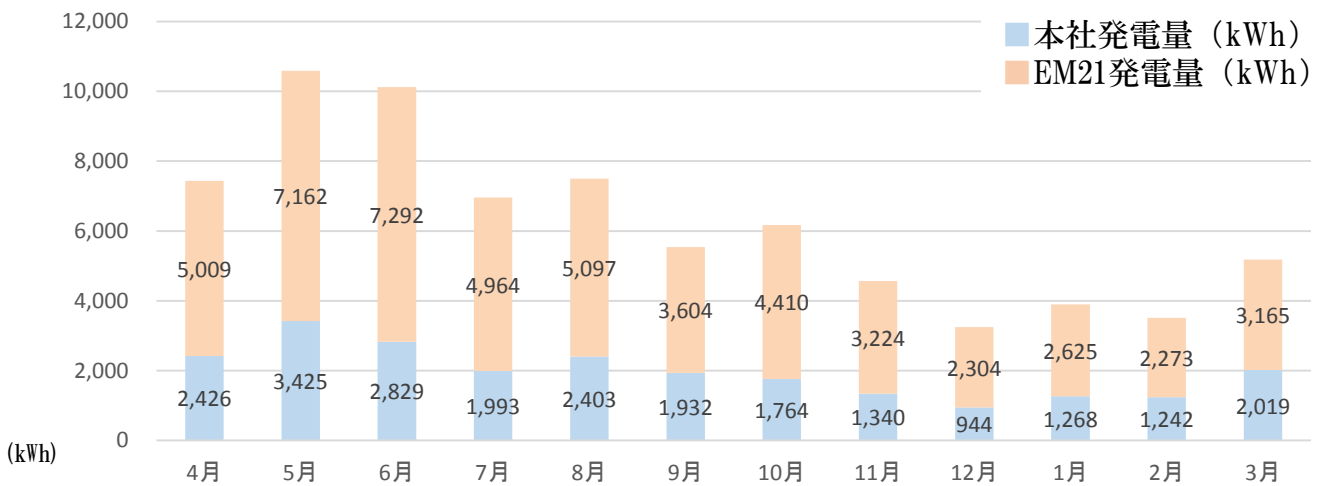


本社屋上の太陽光パネル

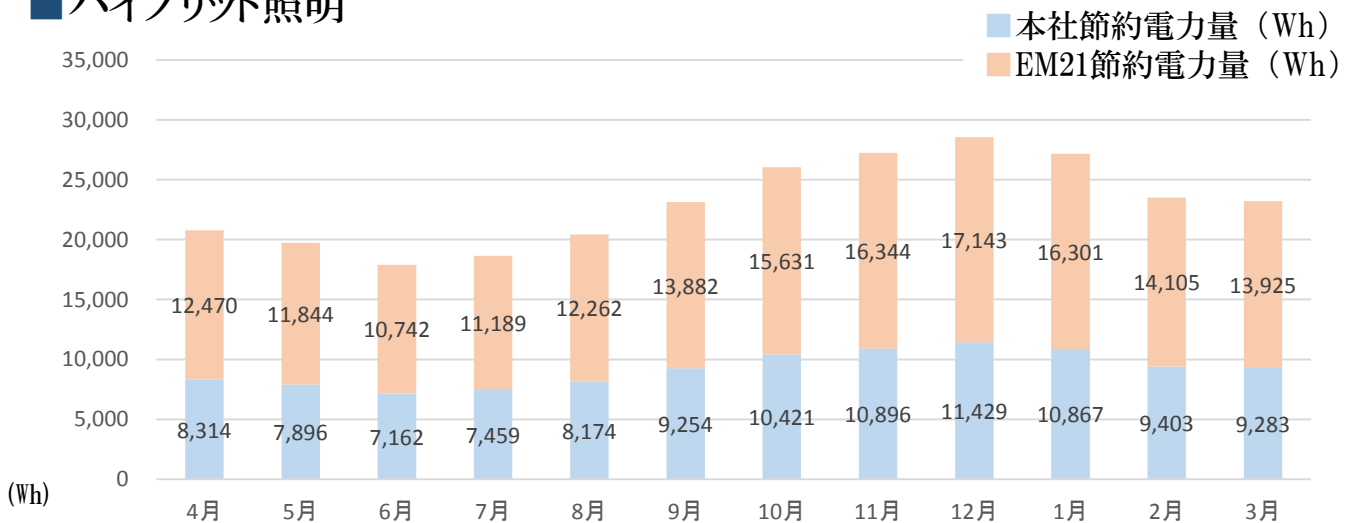
太陽光パネル・ ハイブリッド照明 による発電

本社及びエコミュージアム21には太陽光パネル、ハイブリッド照明を設置しています。太陽光パネルにより発電した電力は、電力会社へ売電を行い環境負荷低減に貢献しております。風力と太陽光併用のハイブリッド照明で発電した電力は、内蔵バッテリーに蓄電され夜間照明に使用しております。

■太陽光パネル



■ハイブリッド照明



5. IMS -統合マネジメントシステム- (Integration Management System)

鈴木工業株式会社では環境と労働安全衛生に十分な配慮をしつつ、お客様に提供するサービスの品質向上を目指しております。そのための管理手法として各種認証規格を取得しております。

ISO9001、ISO14001の2015年版移行に伴い、品質(ISO9001)、環境(ISO14001)、労働安全衛生(ISO45001)3つのマネジメントシステムを統合して運用しております。

◆基本理念

鈴木工業株式会社は、

お客様に満足していただくために、高品質のサービスを効率よくお約束どおり実施します

地球環境に配慮した企業活動が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動から生じるあらゆる環境側面・環境影響の改善を通じ、環境保全の更なる向上を目指します

「人命尊重」を第一とした労働安全衛生への取り組みを推し進め、労働災害の防止と職場環境の更なる向上を目指します

◆IMS方針

1.顧客満足の取り組み

お客様の視点で考え、常に変革と改善を求めて行動します。

プライドと責任をもって、確実かつ適切に行動し、「満足」から「感動」の実現を約束します。

2.環境負荷低減の取り組み

産業廃棄物の適正処理により、「環境保全」「減容化」「再資源化」を推進し、環境負荷の低減を図り自然および地域社会との協和に取り組みます。

3.無事故、無災害の取り組み

労働災害および公衆災害の防止は企業の社会的責任と位置づけ、危険源を除去し、労働安全衛生リスクの低減を図ることで、当社で働く全従業員の安全と健康を確保し快適な職場環境を作ります。

4.法令・規則事項の順守

事業活動に伴い適用される全ての法規制、その他当社が同意した要求事項・自主基準を順守します。

5.継続的改善

当社の事業活動において生じる課題、利害関係者の要求事項、環境影響・重大リスクを特定し、目標を設定し、定期的に確認見直しを行い、継続的な改善を推進します。

6.意識の向上

IMS方針は全従業員が理解できるように研修、掲示板等を通じて組織の管理下で働く人々に対し周知します。

7.協議及び参加

当社で働く人々の意見を積極的に取り入れ、また双方向のコミュニケーションがとれるしくみを維持します。

8.方針の公開

IMS方針はホームページ等を通じて一般の人が入手可能なものとします。

■巡回パトロール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	8回	4回	7回	9回	10回	10回	9回	11回	8回	9回	9回	5回	99回



区画規制



安全帯の使用

鈴木工業株式会社では、労働安全衛生のマネジメントシステムとしてOHSAS18001から新たに「ISO45001」の認証規格を取得しました。自社だけではなく外部からの目も必要と考え、安全教育センターのコンサルティングのもと作業現場の巡回パトロールを行い労働安全衛生の向上に努めています。

■2019年度の資格取得数

資格	取得人数
2級管工事施工管理技士	1名
下水道第3種検定	1名
高圧洗浄士	2名
危険物取扱者（甲種）	1名

■中型・大型車両免許の教習申請者数・取得人数

	申請人数	取得人数
中型車両	5名	※0名
大型車両	6名	※4名

※次年度取得予定

■資格取得支援

資格取得者の増員により業務の質が向上しました。さらなる技術向上を目指し、研修会等にも積極的に取り組んでおります。また、中型・大型車両の免許取得の際にかかる教習費用を全額負担、資格取得報奨金制度の導入により、従業員のスキルアップに力を入れています。

■協議及び参加

鈴木工業では新たにIMS方針として「協議及び参加」の項目を追加いたしました。各部署で全員が参加する会議を実施し、従業員の意見を積極的に取り入れております。会議の議事録を他の部署で共有することにより双方向のコミュニケーションをとれる仕組みを維持しています。



2019年11月30日「社内会議での様子」

6. 社会貢献活動



2019年10月5日「みんなの森活動」



昼食 (炊飯訓練)



記念撮影

わたしたちの 森づくり事業 『みんなの森』

鈴木工業株式会社は、宮城県利府町役場北方に位置する県有林に『みんなの森』と名付け、宮城県森林インストラクター協会のご協力を得て社員や社員の家族、仙台市内の保育園児を招いての森林整備を実施しております。そのほかにも森の観察会などの自然環境活動の場として活用しております。

平成23年度から始まり、今年で9年目となりました。

この事業で温暖化防止に寄与するCO₂の吸収量は年間で約30tの見込みです。

■1日のスケジュール

- 8:30 活動開始 苗木点検
- 10:20 全体参加で開会式
- 10:30 参加者で記念撮影
森づくり活動
- 11:30 昼食 (炊飯訓練)
- 12:00 レクリエーション
 - ・虫取り、葉っぱ遊び
 - ・ネイチャークラフト
 - ・がけのぼり
- 13:00 閉会式



ネイチャークラフト



葉っぱ遊び

「やまとまちあから保育園」 「六丁の目マザーグース 保育園」

今年は、「やまとまちあから保育園」と、「六丁の目マザーグース保育園」の園児を招き、「自然観察と葉っぱ遊び活動」、「杉の丸太・砂運び」「小枝切り体験」など盛りだくさんの内容となりました。

「鈴木工業株式会社みんなの森」令和元年10月5日(土) 活動予定位置図

【保育園児の活動】

1 森づくり活動

- A 巣箱づくりと取り付け
巣箱の絵を描いて、木に取りつける活動
- B 甲虫養育溝づくり かぶとむし幼虫
カブトムシ幼虫を育てる活動 えさ入れをします
- C のこぎりに挑戦 除伐活動
邪魔な枝や木を処理します
- D 砂はこび 砂山づくり活動
みんなで砂をたくさん運んで、畑やピオトープをつります
- E 林業体験 木をひっぱって倒す活動 ロープ活動
ロープでスギの木を引っ張って倒します



巣箱づくり活動

かぶとむし幼虫



のこぎり挑戦 除伐活動

砂はこび 砂山づくり

2 レクリエーション活動

- (1) 虫とりや葉っぱ遊びを楽しみます
- (2) 枝を使ったネイチャークラフトを楽しみます
- (3) がけのぼりにも挑戦します



木をひっぱって倒す活動

葉っぱ遊び活動

【親子活動 社員ボランティア活動】

- E 遊歩道づくり活動
- F 植樹活動
- G 高い枝打ち活動
- H 植樹地の除伐・枝打ち活動



枝を使ったネイチャークラフト

がけのぼり挑戦



活動予定表



社会福祉法人 「わらしべ舎」

みんなの森活動ではBCM(事業継続マネジメント)訓練の一環として、炊飯訓練も行っています。今回は社会福祉法人「わらしべ舎」にて製造・販売しているカレーを使用しました。大きな手羽元が入ったカレーに参加者一同大満足でした。

大崎八幡宮 松焚祭 裸参り

国寶大崎八幡宮で行われる「松焚祭」は全国でも最大級の正月送りの行事です。1月14日の夜、境内の一角に近郷近在より持ち寄られた門松・注連縄・松飾り等は、日没の頃「忌火」により点火され焚き上げられます。この火は正月の間に各家庭を訪れていた神々を送る「御神火」として、あたると心身が清められ、一年間無病息災・家内安全 の加護を得ると言い伝えられています。

鈴木工業株式会社は、この「御神火」を目指して参拝する「裸参り」に参加しております。





2019年7月10日「宮城県工業高等学校訪問」

2019年7月26日「仙台商業高等学校訪問」

若者の 健全育成 支援活動

鈴木工業株式会社では、企業としての社会的責任を果たすべく、さまざまな活動を行っております。その一環として、若者の健全な心と体を育む活動を応援するため、教育機関等に対する支援活動を行っております。

2019年度は、ベガルタ仙台様のご協力をいただき宮城県内の高校2校のサッカー部への支援活動を実施しました。

活動内容

- 運動用具寄贈
- ベガルタ仙台公式戦招待



2019年8月24日「ベガルタ仙台公式戦招待」

清掃 ボランティア

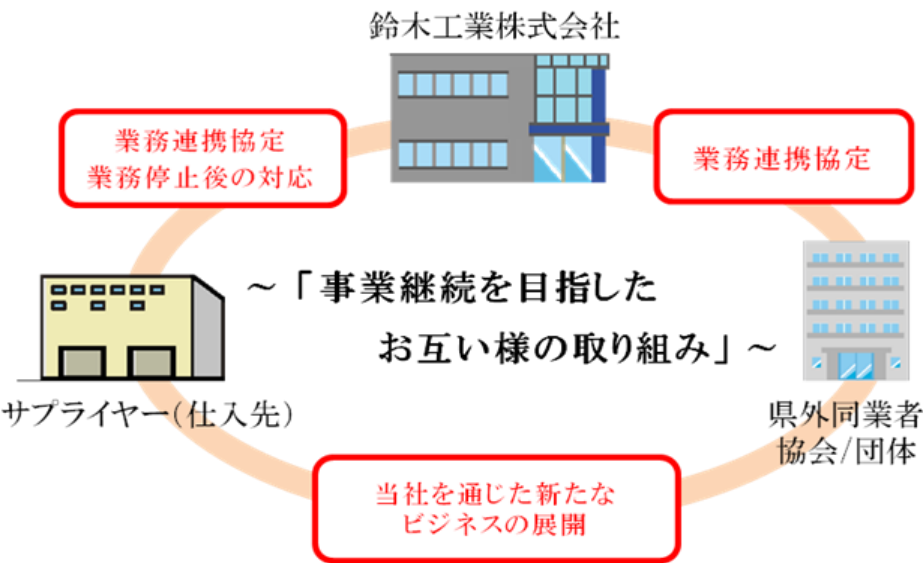
鈴木工業株式会社では、地域貢献活動のお手伝いを積極的に行っております。写真は亘理町主催の地域清掃ボランティアの様子です。

今後も生活環境と自然環境の保全のため、清掃活動に協力してまいります。



2019年7月6日「亘理町清掃ボランティア」

7. BCM -事業継続マネジメント- (Business Continuity Management)



BCM(事業継続マネジメント)とは、組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させる為の活動を指します。鈴木工業株式会社では、協力先企業であるサプライヤー(仕入先)や県外同業者や協会団体へ、非常事態時の連携強化となる「お互い様の取り組み」を提案し、互いの事業継続能力の維持・改善を進めております。

BCMに関する講演活動

鈴木工業株式会社は東日本大震災により甚大な被害を受けました。当時の被災状況、BCMによる早期復旧・復興の経験を講演しております。

今後も被災地企業の責務として、BCMの普及に貢献してまいります。



社内研修会での取り組み

社員全員が参加し「安全に対する意識及び知識・技術力の向上」を目的とした社内研修会を定期的に行っております。研修会ではBCP訓練として、BCPの目的及び体制についての説明、安否確認訓練を実施し事業継続計画の継続的な改善に取り組んでいます。





安否確認システム

鈴木工業株式会社では、東日本大震災の経験を踏まえ災害時に従業員と連絡を取る手段として社員専用の「安否確認システム」をホームページにて導入しております。

定期的に訓練を行っており、有事の際に適切に連絡を取る体制を整えております。

鈴木工業のパンデミック対策(新型コロナウイルス)



鈴木工業では新型コロナウイルス(COVID-19)の国内外での感染者数の継続的な拡大を受け、弊社事業による社会的責任の観点から事業継続に対する取組として、2020年4月1日にBCPの発動を致しました。

取組内容

1. 手洗い・うがい・マスク着用、アルコール等による消毒・換気の励行、
(従業員への消毒液支給による予防意識の高揚)
2. サーモグラフィーカメラによる出勤・退社時の体温測定。発熱(37.0℃以上)・せき・倦怠感等の症状がある場合は、
休暇取得指示(同居者が同条件も該当とする)
3. イベント・セミナー・会食への出席の原則禁止、
Web会議の使用推奨
4. 不要不急の国内出張原則禁止
5. 全部署人員の分離・細分化によるリスク回避
(3事業所 8パーティに分離)
6. 中間処理場の視察受入れの原則延期
7. 作業現場及び使用車両の消毒作業実施



8. 測定結果



2020年3月26日導入 分析機器「ガスクロマトグラフィー」

産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」では分析室を設け、焼却施設から排出される焼却灰・ばいじん、脱水施設から下水道放流する排水等の自主分析を行い、排出基準を遵守するよう努めております。また、搬入される産業廃棄物について、有害な物質が含まれていないか調べる場合もあります。

■ 焼却処理施設排ガス測定結果

	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	硫黄酸化物 (m ³ N/h)	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 (mg/m ³ N)	窒素酸化物 (ppm)	水銀ガス状 (μg/m ³ N)	水銀粒子状 (μg/m ³ N)
2019/5/17	-	0.0048	0.003	23	60	0.11	0.0025
2019/5/17～ 2019/6/14	0.18	-	-	-	-	-	-
2019/10/30～ 2019/11/22	3.9	-	-	-	-	-	-
2019/11/11		0.0027	0.006	23	68	1	0.001未満

焼却処理施設から排出されるガスは年に1回以上、検査機関に依頼し測定しております。

■ 焼却処理施設維持管理状況

	実施日
	4/7、4/8、4/27～5/3、5/19、5/20、6/9、6/10、7/7、7/8、8/4、
ばいじん除去及び冷却設備メンテナンス	8/5、9/8、9/9、10/6、10/7、11/4、11/5、12/1、12/2、12/21、 12/22、12/23、1/26、1/27、2/24、2/25、3/14、3/15、3/16

除去したばいじんについては最終処分場にて埋立処理及び、中間処理場にて処理しております。



有機汚泥処理施設放流水測定結果

(単位:mg/l (pH除く))	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え9未満	7.2	6.8	7.1	7.2	7.2	7.2	7.6	7.0	7.3	7.3	7.2	7.0
BOD	600 未満	0.7	-	-	0.5	-	-	1.3	-	-	1.3	-	-
SS	600 未満	2.2	-	-	11	-	-	2.9	-	-	3.7	-	-
ノルマルヘキサン抽出物質	30 以下	0.5 未満	-	-	0.5 未満	-	-	0.5 未満	-	-	0.5 未満	-	-
亜鉛含有量	2 以下	0.1 未満	0.1	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
溶解性鉄含有量	10 以下	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満
鉛及びその化合物	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
トリクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
テトラクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ジクロロメタン	0.2 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
四塩化炭素	0.2 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,2-ジクロロエタン	0.04 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1-ジクロロエチレン	1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1,1-トリクロロエタン	3 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ベンゼン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ふっ素	8 以下	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満
ほう素	10 以下	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380 未満	0.2	-	-	0.3	-	-	0.2	-	-	0.3	-	-

無機汚泥処理施設放流水測定結果

(単位:mg/l (pH除く))	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え9未満	6.4	6.7	6.4	6.9	6.6	6.8	6.8	6.7	7.0	6.7	6.6	6.7
BOD	600 未満	14	-	-	8.7	-	-	2.0	-	-	1.2	-	-
SS	600 未満	20	-	-	79	-	-	2.2	-	-	1.2	-	-
ノルマルヘキサン抽出物質	5 以下	0.6	-	-	0.5 未満	-	-	0.7	-	-	0.5 未満	-	-
亜鉛含有量	2 以下	0.1 未満	0.1	0.1 未満	0.1 未満	0.2	0.1 未満	0.1	0.1	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
溶解性鉄含有量	10 以下	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満
鉛及びその化合物	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
トリクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
テトラクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ジクロロメタン	0.2 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
四塩化炭素	0.2 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,2-ジクロロエタン	0.04 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1-ジクロロエチレン	1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1,1-トリクロロエタン	3 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ベンゼン	0.1 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ふっ素	8 以下	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満
ほう素	10 以下	0.3	0.2	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380 未満	1.2	-	-	1.7	-	-	1.0	-	-	0.4	-	-



本社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目3番28号
 TEL 022-288-9201 FAX 022-288-9293
 E-mail info@suzukitec.co.jp



エコミュージアム21 〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007 仙台市宮城野区仙台港北二丁目14番地の3
 TEL 022-254-0091 FAX 022-258-0403
 E-mail eco-m21@suzukitec.co.jp



再生館 〈産業廃棄物 リサイクル施設〉

〒984-0002 仙台市若林区卸町東四丁目4番25号
 TEL 022-287-0039 FAX 022-288-9293